

「深田研講座」は、地球科学研究に従事する若手研究者および、地質・地盤調査や環境調査、測量調査などの実務に従事する技術者に、地球科学に関する基礎的・応用的知識および実務に関する最新知見・情報・技術を伝え、専門知識・技術力の研鑽の機会となることを目的に、これまで開催されていた「深田研ジオフォーラム」を発展的に改組して、2023年に開講されました。深田研講座は、遠方からも多くの方に受講していただけるよう、オンラインで開催します。

テーマ：基礎から学ぶ炭酸塩堆積物



炭酸塩堆積物の堆積環境と炭酸塩岩。左上) 現世サンゴ礁 (沖縄県池間島沖)、右上) 陸域炭酸塩堆積環境 (沖縄県南大東島今村洞)、左下) 大型有孔虫石灰岩 (鹿児島県喜界島; 中部更新統百之台層)、右下) モールド孔隙 (東南アジア中新統炭酸塩岩)

講師：

松田 博貴 氏

(深田地質研究所 理事長)



炭酸塩堆積物は、熱帯から亜熱帯、冷温帯まで、また海域や陸域の様々な環境で堆積し、構成物や化学組成、同位体比には堆積環境の情報が記録されている。そのため、堆積環境や環境変動の解析に有用である。一方、堆積中から始まる続成作用は、鉱物組成や化学組成、同位体比、ならびに堆積組織を変化させるため、堆積時の環境記録解析の障害となっている。しかしこれら新たな情報の付加は、堆積後の続成史や埋没環境の解明に有効である。また岩石物性や孔隙率・浸透率分布にも影響を与えるため、炭化水素資源や水資源開発では続成作用の理解が重要である。講座では、炭酸塩堆積物の構成物と堆積環境、そして続成作用の基礎について講義し、それらから読み取ることができる環境記録について説明する。

2026年4月23日(木) 13:00~16:15

【開催形式】 オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

【参加費】 無料 【定員】 300名

【申込期間】 3月19日(木)~4月20日(月) 17:00

【CPD単位】 深田研講座は CPD (継続教育) 履修実績として申請できます (3単位)

【プログラム】

13:00-14:30

①炭酸塩堆積物の構成物と堆積環境

14:30-14:45 (休憩)

14:45-16:15

②炭酸塩堆積物の続成作用

【申込方法】 ご参加には事前登録が必要です。深田研のホームページ (<https://fukadaken.or.jp>) に記載のフォームよりお申し込みください。

【問合せ先】 fgi_event@fgi.or.jp (※問い合わせはメールのみでの対応とさせていただきます)

